

## 「数理キャリアデザインセミナー2017」アンケート集計結果

数理キャリア支援室

### 1. アンケート回答者による参加日

DAY1 12名、DAY2 15名、DAY3 25名

「注」参加人数実績（アンケート未回答含む）

DAY1 37名、DAY2 27名、DAY3 31名

### 2. 在籍年次（アンケート回答者）

学部 3年：4名 4年：3名

修士 1年：2名 2年：1名

博士 1年：1名 2年：2名 3年：2名

ポスドク：1名

その他：1名

### 3. 所属（アンケート回答者）

理学部数学科・数理科学研究科：16名

総合文化研究科：1名

### 4. 参加理由

- ・学部就職を考えているから。
- ・数学の素養を生かせる職種を幅広く知りたかったから。
- ・現在就職活動中で様々な企業の情報を得たかったから。
- ・情報収集のため。
- ・選択肢の幅を広げるため。
- ・修士卒後の就活の情報がほしいから。
- ・修士号取得後に就職することを考えているので、情報収集のため。
- ・修士に行く上で、出たあと就職する場合どのようなキャリアがあるのか知りたかった。
- ・数学科卒業後の進路についての情報が欲しかったため。
- ・研究がうまくいっていないため。
- ・数理系の職種としてどのようなものがあるか知りたかった。
- ・大学院への進学と就職を迷っていて、情報を集めたいと思ったから。
- ・現在は大学での研究者を第一志望としているが、その他にどのような選択肢があるのかを知るため。
- ・将来のキャリアパスでいろいろと迷っているところであり、企業等への就職も1つの選択肢として考える中で参考にするべく参加しました。

## 5. 感想・要望等

- ・一社あたりの持ち時間が少ないように思った。個別説明会は非常に有用だった。
- ・セッション毎に個別相談を設けてもらえたのはありがたかった。どの職もプログラミングの必要性を感じた。
- ・初めて参加しました。どのような仕事があるのか知れて有益でした。発表中に「数学的に定式化」という言葉が出てくるが多かったのですが、より具体的な事例を挙げていただくと、イメージする上で助かります。
- ・人事担当の方と研究等に携わる卒業生と、両方の話を聞けるので、企業等の雰囲気を想像しやすかった。
- ・B to Bや企業の研究所などで、民間でも様々な業種に関わり、まるで数学のようにある技術を他に転用したりといったことが行われているのを知ったのは新鮮でした。貴重な機会をありがとうございました。

以上